

平成30年度沖縄県立普天間高等学校学校評価のまとめ

I 評価アンケート実施概要について

1 実施時期について

- (1) 平成31年1月23日(水)～1月31日(木)の2週間で実施
- (2) 回答方法はマークシート及び自由記述を併用

2 対象対象及び回答率について

(1) 職員

管理者	教諭	養護教諭	実習助手	事務職員等	合計
4	62	2	3	7	78

回答者数 54名

回答率 54名 ÷ 78名 = 69.2% (51.2%)

回答率が昨年に比べかなり上昇している。

(2) 保護者…表中の①～③は学年を示す

調査対象者数(人)	①401	②396	③394	全1,191
回答者数(人)	①255	②198	③125	全578
回答率(%)	①63.6	②50	③31.7	全48.5

回答率の平均が約50%弱と低い数値となっている。特に1学年が回答率6割を上まわっているのに比べて、2学年が5割、3学年が3割程度と学年を追うことに低下している傾向が見られる。特に3年生は3人に1人しか回答しないという残念な結果となった。保護者へは今後も学校評価アンケートの意義を周知し、更に実施方法や時期の工夫・改善に努めていく。

(3) 生徒…表中の①～③は学年を示す

調査対象者数(人)	①400	②398	③390	全1,188
回答者数(人)	①353	②386	③360	全1,099
回答率(%)	①88.3	②97.0	③92.3	全92.5

各担任の熱心な指導のおかげで、全ての学年で回答率の平均が8割を大幅に超えており、特に2学年は97%とほぼ全員が回答するという目覚ましい結果となった。

II 評価アンケートの分析について

評価アンケートの回答結果について、評価の高い項目として「そう思う」の割合が高い項目の上位3位を、同じく評価の低い項目として「思わない」の割合が高い項目の上位3位をそれぞれ抜き出し、評価傾向を以下のように分析した。

1 「教職員による評価」について

(1) 評価ポイントの高い項目

評 価 項 目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	思わない
2. 本校職員は「文武両道」の目標達成に向けて、学習指導や部活動及び課外活動の指導に熱心に取り組んでいる。	51.9%	37.0%	11.1%	0.0%
7. 教科担任は、センター過去問や模試等を利用するなど国公立大学や上級学校の各種入試に対応できるよう、授業内容の工夫をしている。	59.3%	33.3%	5.6%	1.9%
9. 始業・終業のチャイムを守り、50分授業の徹底を行っている。	56.4%	38.2%	3.6%	1.8%

「2. 本校職員は「文武両道」の目標に向けて、学習指導や部活動及び課外活動の指導に熱心に取り組んでいる。」51.9%、「7. 教科担任は、センター過去問や模試等を利用するなど国公立大学や上級学校の各種入試に対応できるよう、授業内容の工夫をしている」59.3%、「9. 始業・終業のチャイムを守り、50分授業の徹底を行っている。」が56.4%と「そう思う」の割合が高く、本校の教育目標並びに授業に臨む基本的な姿勢に対する自己評価が高く、本校職員が自分の学校の誇りを持って日々教育活動に臨んでいることがうかがえる結果となった。

(2) 評価ポイントの低い項目

評 価 項 目	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	思わない
10. 週末課題は、効果があがるように工夫している。	22.6%	43.4%	22.6%	11.0%
12. 日々の家庭学習習慣化のために、予習・復習課題を課している。	15.4%	55.8%	23.1%	5.8%
22. 放課後や退勤時に、教室・準備室等の戸締まり・点検を心がけている。	27.3%	40.0%	21.8%	10.9%

「10. 週末課題は、効果があがるように工夫している。」が11.0%、「12. 日々の家庭学習習慣化のために、予習・復習課題を課している。」が5.8%、「22. 放課後や退勤時に、教室・準備室等の戸締まり・点検を心がけている。」が10.9%と「思わない」の割合が高く、学校現場の多忙化を反映してか、効果的な学習活動に迷いを感じている様子がうかがえる。また戸締まり等も生徒を信頼してか任せきりの部分がうかがえるが、その一方で日々の戸締まり状況が芳しくない状況もあるので、是非積極的に生徒に戸締まりを心掛けるよう今以上呼びかけをして欲しい。「文武両道」の観点からも「自律」の意識を徹底する事で部活動実績、進路実績の大幅向上に繋がると考える。

2 「保護者による評価」について

(1) 評価ポイントの高い項目

評 価 項 目	そう思 う	ややそ う思う	あまり そう思 うわな い	思わな い	わから ない
1. 普天間高校は、我が子を預ける学校として、信頼のおける学校である。	81.2%	16.5%	1.6%	0.3%	0.3%
2. 普天間高校生は「文武両道」の目標に向かって、勉強や部活動及び課外活動ともに頑張っている。	69.5%	25.1%	4.3%	0.4%	0.6%
3. 普天間高校職員は「文武両道」の目標達成に向けて、学習指導や部活動及び課外活動の指導に熱心である。	54.1%	34.9%	5.6%	1.5%	3.8%

「そう思う」の割合が、「1. 普天間高校は、我が子を預ける学校として、信頼のおける学校である。」が81.2%、「2. 普天間高校生は「文武両道」の目標に向かって、勉強や部活動及び課外活動ともに頑張っている。」が69.5%、「3. 普天間高校職員は「文武両道」の目標達成に向けて、学習指導や部活動及び課外活動の指導に熱心である。」が54.1%と、本校に対する保護者の信頼と満足度が比較的高いことがうかがえる。保護者の信頼を教職員も実感するとともに、実際の教育活動の実践と結果に着実につなげていくことが大切であろう。

(2) 評価ポイントの低い項目

評 価 項 目	そう思 う	ややそ う思う	あまり そう思 うわな い	思わな い	わから ない
4. 我が子は、平日2時間、休日4時間程度の自主学習の習慣化を努力している。	21.0%	25.1%	31.6%	20.5%	1.8%
15. 学校の遅刻・欠席・欠課等の勤怠指導は、十分に保護者と連携をとりながら行われている。	44.1%	33.6%	4.3%	1.8%	16.2%
18. 学校は、いじめや心の健康等についてきちんと対応している。	37.4%	32.3%	2.5%	1.0%	26.7%
20. 学校は、地域の人材活用を十分に行っている。	25.9%	34.3%	7.7%	1.4%	30.7%

「4. 我が子は、平日2時間、休日4時間程度の自主学習の習慣化を努力している。」が「思わない」20.5%、「15. 学校の遅刻・欠席・欠課等の勤怠指導は、十分に保護者と連携をとりながら行われている。」、「18. 学校は、いじめや心の健康等について、今年度あらたに評価項目として設定した「わからない」について、順に16.2%、26.7%、30.7%と割合が高く、外部に対して情報が行き届いてないという課題が明らかになった。

3 「生徒による評価」について

(1) 評価ポイントの高い項目

評 価 項 目			そう思 う	ややそ う思う	あまり そう思 うわな い	思わな い
Q13	3年	私は、自らの進路目標を明確にし、その達成に向けて努力している。	56.3%	32.5%	8.7%	2.5%
Q16.		私は、HRや授業の遅刻・欠課・欠席をしないように努力している。	72.8%	20.2%	5.6%	1.4%
Q18.		携帯電話使用マナーや女子制服のスカート丈をはじめとする服装容儀指導について、学校の指導方針を守るように努力している。	64.4%	30.3%	4.2%	1.1%

「そう思う」の割合が、「Q13-3年：私は、自らの進路目標を明確にし、その達成に向けて努力している。」が56.3% (54.8%)、「Q16. 私は、HRや授業の遅刻・欠課・欠席をしないように努力している。」が72.8% (75.2%)、「Q18. 携帯電話使用マナーや女子制服のスカート丈をはじめとする服装容儀指導について、学校の指導方針を守るように努力している。」が64.4% (65.1%)と、本校の生徒が基本的な生活習慣について、十分自覚的に行動できていることがうかがえ、さすが普天間高校生という結果となっている。また、3年生になると進路意識も明確になり、着実に努力している自己評価となっており、近年の普天間高校の進路実績躍進の原因のひとつになっていると思われる。しかし、昨年度との比較において、割合が低くなっている項目があるのでそこは課題として指摘しておきたい。

(2) 評価ポイントの低い項目

評 価 項 目			そう思 う	ややそ う思う	あまり そう思 うわな い	思わな い
Q3.		平日2時間、休日4時間以上の自主学習を確保するために、時間の有効活用に努力している。	16.3%	29.6%	38.3%	15.8%
Q12.		私は、授業理解のために家でも予習・復習・宿題等に取り組んでいる。	11.6%	37.8%	37.4%	13.2%
Q15.		私は、課外講座や自主学習室などを積極的に活用している。	20.8%	26.8%	32.1%	20.4%

「Q 3. 平日2時間、休日4時間以上の自主学習を確保するために、時間の有効活用に努力している。」が15.8% (17.5%)、「Q12. 私は、授業理解のために家でも予習・復習・宿題等に取り組んでいる。」が13.2% (14%)、「Q15. 私は、課外講座や自主学習室などを積極的に活用している。」が20.4% (23.0%)の「思わない」という回答結果となり、自学自習全般に関する取り組みが弱いという評価結果となった。上述した通り、部活動を引退して3年生になると自覚的に受験勉強に取り組む姿勢はあるが、職員・保護者の課題である部活動と学習時間の確保と併せて、やはり1・2年の頃から日々の授業や家庭学習時間を大切にし、自分の進路目標実現に向けて早期に取り組む姿勢を育てていくことが大切である。昨年度との比較において、すべての項目で「思わない」と回答した割合が減少していることは改善点であるが、「Q15. 私は、課外講座や自主学習室などを積極的に活用している。」が20.4%と5人に1人が活用していないと回答している事を踏まえ、より積極的な働きかけの必要性がある事を提言したい。

Ⅲ 自由記述について

自由記述について、順不同で以下に示す。今後の学校の取り組みの参考としたい。

1 教職員

- (1) 別室登校生の対応や、普天間高校の目指す所や業務精選についてなど、時間を設定して職員の声聞いてみてはいかがですか？
特に、課題等の調整や別室登校生の増加については職員みんな不安です。
- (2) 授業時数の平均を16～18時間ではなく、もっと少なくして（例14～16時間など）生徒個々の指導に重点をおけるよう、県教育委員会に提案してほしい。
- (3) 生徒情報の共有方法について、もう少し工夫すべきだと感じる。生徒との関わりに十分時間を割けない場合、生徒の変化に対して適当といえる対応ができない場面があった。
- (4) クーラー稼働時期になると効きが悪いクラス（特に体育館側の3階、4階）が出ている状態にある。今年度も同じクラスで数回あった。暑い時期に扇風機もないため弁当等腐らないか懸念される。保護者から苦情がいつきてもおかしくない状態にある。そこで、すぐに持ち運べる扇風機があれば助かります。または、新品でなくてもつり下げ式の扇風機をリサイクル等で購入できないのでしょうか。検討をお願いします。
- (5) いじめに関するアンケートが以前あり、一覧表に目を通しただけで、生徒への呼びかけや注意が全生徒に対して行われていないこと。
- (6) クーラーやトイレなど故障、悪臭等が多い。新校舎建設は今後どうなるのか？
予算がなければ無理ですが・・・
- (7) 今年度業務が全体的に忙しくなっていると感じます。どうにかならないものでしょうか。職員が健康で笑顔あふれる職場環境であってほしいものです。
- (8) Q10、11、12の項目は、教科担任が「そう思う」を評価するために生徒への負担を増加させる可能性があるのでは、「生徒の自学自習の習慣化のための工夫をしている」など量ではなく、質を上げるような取り組みの工夫を評価してほしい。
- (9) スクラップ&ビルドのスクラップの部分は管理者主導で進めないと一向に減らないと思います。学力向上関係で、職員の負担、ストレスは非常に高まっていると思います。
- (10) 2017年反省で各学期に出された「生徒の活躍を懸垂幕で内外にアピールしたらいい」について、2017年度末、来年度は「行う」とのことだったが、なくて残念でした。2016年からの方法や、何か引継ぎはなされていなかったのでしょうか。

2 保護者

- (1) 校舎がかなり古いので、建て替えをして欲しい。
- (2) 授業中も膝掛け等の使用を許可して頂きたいです。
- (3) 教頭先生の保護者向けメールがいつも楽しい。とても良いと思います。
- (4) 毎号、進路便りを保護者にも配布して欲しい。
- (5) 進路相談室に相談に行った時、指定校推薦の情報提供をもっとして欲しい。
- (6) 子どもの健康面、学習時間確保の為、部活の休みが欲しい。
子どもは学校は楽しく、部活も頑張っていますが土日も早くから部活があったりしてなかなか休息が取れていない感じがします。

※部活をみて頂いている先生方には感謝しています。

- (7) 部活の拘束時間が長すぎますし夜8時（学校外）等危険だと思います。これでは、勉強をする時間は確保できません。時間短縮をしてほしいです。
- (8) 学校で部活動でケガをし、翌日病院で治療しました。欠席になったのは附におちない、出席扱いにはならないか？

3 生徒

- (1) 受検者へのバックアップが最悪。
- (2) センターが終わったので球技大会をして2次も頑張ってもらいたい。
- (3) 休み時間のトレーニング室利用を許可してほしい。